

大戦景気

貿易	輸入超過 → 輸出超過へ 綿糸・綿織物の輸出急増 11億円の債務国(1914年) → 27億円の債権国(1920年)に ※ 鈴木商店の総合商社化
金融	金輸出 禁止 (1917年) → イギリス以外のヨーロッパの国、アメリカにならう。
海運	世界第三位の海運国へ → 船成金を生む。 →世界的な船舶不足。日本の海運業と造船業は活況に。造船トン数は戦前の12倍。
鉄鋼業	八幡製鉄所の拡張 満鉄の鞍山製鉄所の設立(1918)
化学工業	大戦中のドイツからの輸入減少 薬品・染料・肥料の国産化
電力業	工業用動力源: 蒸気力から電力へ(水力発電へ) ※福島県(猪苗代・東京)間の長距離送電に成功

大戦景気の結果

工業発展 → 工業生産額が農業生産額を追い越す(1918年、重化学業の比重30%)
輸入超過(1919年) → 大戦恐慌へ(1920年)

他にどのような結果が起こったのだろうか？考えてみましょう。

